

造影 CT 検査を受けられる患者さまで、糖尿病薬を服用している方へ

糖尿病薬のうち、ビグアナイド系の糖尿病薬(下記一覧表参照)を服用している方の場合、頻度としてはまれですが、造影 CT 検査後に、乳酸アシドーシスという重篤な副作用が起こることがあります。

乳酸アシドーシスとは、初期症状として食欲不振、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状が急激に出現し、進行すると倦怠感、筋肉痛・痙攣、脱力感、腰痛、胸痛、過呼吸、脱水、低血圧などを引き起こし、昏睡状態に陥ることもあります。

万一の副作用を防止するため、ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方は、**検査日前後 2 日間休薬(計 5 日間)**になります。

この間これらの糖尿病薬を服用していないことにより血糖値が一時的に上昇する可能性がありますので、この用紙を持参するなどして、処方医にご報告し、許可をいただいております。

休薬いただいた場合は、下記の薬剤名を丸で囲って、下記の□にチェックを入れて、休薬期間日を記入してください。

この用紙は、検査日に必ずご持参ください。

〈ビグアナイド系糖尿病薬〉

成 分	薬剤名
メトホルミン製剤	グリコラン錠、メトグルコ錠、および後発品(メトホルミン塩酸塩錠など)
メトホルミン塩酸塩含有の配合錠	イニシンク配合錠、メタクト配合、エクメット配合錠および後発品(メホビル配合錠など)、メトアナ配合錠

(参照)日本医学放射線学会より

患者さまへ

☐ 次の期間、休薬してください。

年 月 日 ～ 年 月 日

お名前 : _____